

2025年3月期 決算説明資料

～Summary of Consolidated Financial Results～

(The Fiscal Year Ending March 31, 2025)

◎ 日産証券グループ株式会社

証券コード：8705（東証スタンダード）

I	決算の状況	(P3)
II	事業指標	(P9)
III	トピックス	(P18)
IV	株主還元	(P25)
	会社情報	

I 決算の状況

～Summary of Financial results～

収益

営業収益は前期比4.8%減の7,373百万円

受入手数料は、311百万円減の6,638百万円（前期比4.5%減）となりました。トレーディング損益、金融収益、その他営業収益を加えた営業収益は、7,373百万円（同4.8%減）、営業収益から金融費用を控除した純営業収益は7,316百万円（同5.0%減）となりました。

費用

販売費・一般管理費は前期比2.8%減の6,604百万円

販売費・一般管理費につきましては、項目中で大きな割合を占める、取引関係費が114百万円減少し1,585百万円（同6.8%減）となったことなどから、前年同期より189百万円減少し6,604百万円（同2.8%減）となりました。

損益

営業利益(連結)は前期比21.2%減の712百万円

営業利益は前年同期より191百万円減少し、712百万円（同21.2%減）となりました。また、受取配当金として115百万円を計上したこと等もあり、経常利益は815百万円（同27.9%減）となりました。これに加え、特別損失として金融商品取引責任準備金繰入108百万円、投資有価証券評価損24百万円を計上したこと及び法人税等合計が195百万円となったことなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は351百万円（同36.5%減）となりました。

損益計算書サマリー（前期比）

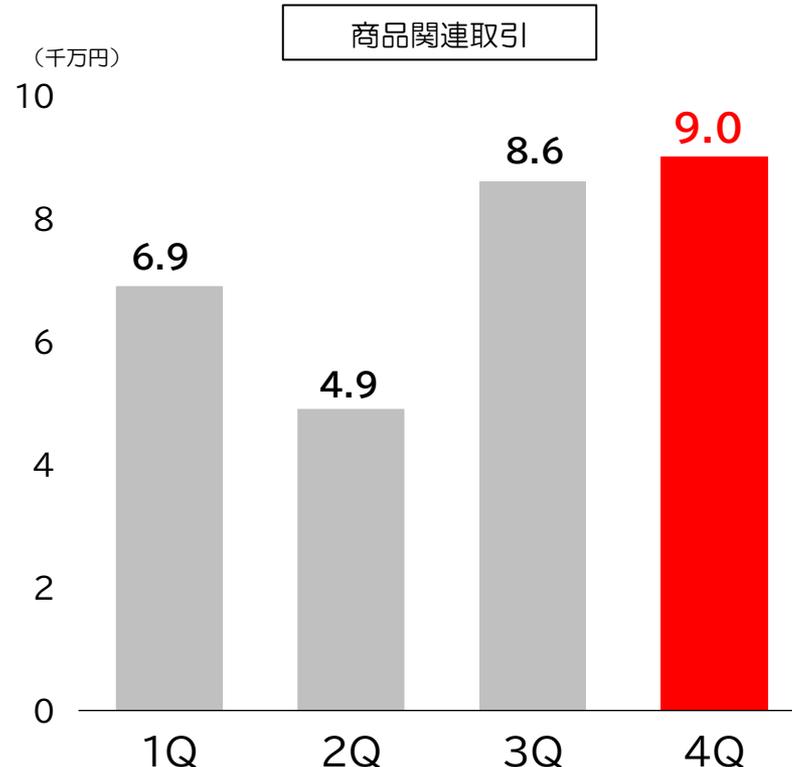
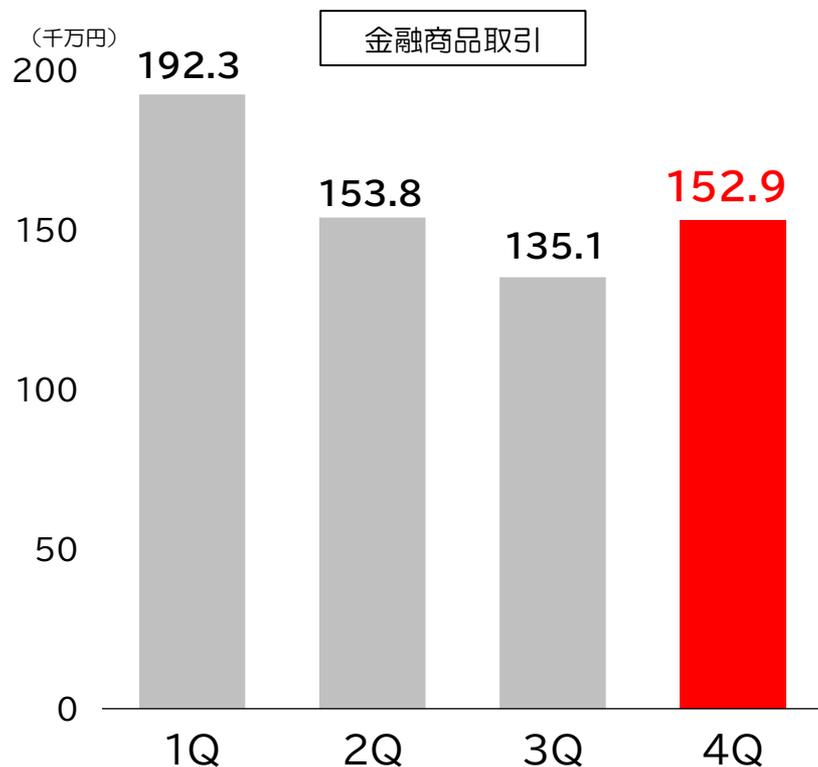
(単位:千円)	2024年3月期	2025年3月期	前期比 (%)	前期比 (増減)
営業収益	7,743,106	7,373,266	-4.8%	-369,839
受入手数料	6,950,203	6,638,561	-4.5%	-311,641
トレーディング損益	631,395	451,910	-28.4%	-179,485
金融収益	91,865	208,107	+126.5%	+116,242
その他の営業収益	69,642	74,687	+7.2%	+5,044
金融費用	45,117	56,517	+25.3%	+11,400
純営業収益	7,697,988	7,316,748	-5.0%	-381,240
販売費・一般管理費	6,793,973	6,604,033	-2.8%	-189,939
営業利益・損失	904,015	712,715	-21.2%	-191,300
経常利益・損失	1,130,249	815,294	-27.9%	-314,954
親会社株主に帰属する 当期純利益	553,175	351,184	-36.5%	-201,990

損益計算書サマリー（前四半期比）

(単位:千円)	2025年3月期 3Q(10~12月)	2025年3月期 4Q(1~3月)	前四半期比 (%)	前四半期比 (増減)
営業収益	1,619,924	1,754,830	+8.3%	+134,906
受入手数料	1,438,232	1,619,466	+12.6%	+181,234
トレーディング損益	104,475	46,339	-55.6%	-58,135
金融収益	58,119	68,010	+17.0%	+9,891
その他の営業収益	19,097	21,013	+10.0%	+1,915
金融費用	11,224	17,147	+52.8%	+5,923
純営業収益	1,608,699	1,737,682	+8.0%	+128,982
販売費・一般管理費	1,533,253	1,691,104	+10.3%	+157,850
営業利益・損失	75,446	46,578	-38.3%	-28,867
経常利益・損失	57,079	58,410	+2.3%	+1,330
親会社株主に帰属する 四半期純利益	882	-46,850	-5411.2%	-47,732

受入手数料

(単位:千円)	2024年3月期	2025年3月期	前期比(%)	2025年3月期 3Q(4~12月)
受入手数料	6,950,203	6,638,561	-4.5%	5,019,095
金融商品取引	6,720,644	6,342,527	-5.6%	4,813,101
商品関連取引	229,558	296,034	+29.0%	205,993



※ 商品関連市場デリバティブ取引は金融商品取引法に基づく取引であるため、2024年3月期より区分変更を行い、金融商品取引に含めております。

販売費・一般管理費

(単位:千円)	2024年3月期	2025年3月期	前期比 (%)	前期比 (増減)
販売費・一般管理費	6,793,973	6,604,033	-2.8%	-189,939
取引関係費	1,700,337	1,585,979	-6.7%	-114,357
人件費	3,357,874	3,373,559	+0.5%	+15,684
不動産関係費	535,577	548,405	+2.4%	+12,828
事務費	739,058	746,238	+1.0%	+7,179
減価償却費	101,168	106,700	+5.5%	+5,532
租税公課	87,161	77,923	-10.6%	-9,238
貸倒引当金繰入額	△3,219	△7,442	-131.2%	-4,223
のれん償却額	149,065	80,382	-46.1%	-68,682
その他	126,949	92,285	-27.3%	-34,663

Ⅱ 事業指標

~Business Indicators~

口座数 と 預かり 資産

前期比で口座数は減少するも、預かり資産は8.7%増加

日産証券のお客様口座数は2024年3月末の54,341口座に対し、52,841口座と1,500口座の減少となりました。昨年より行っているオンライン取引口座のうちお取引が無く、預かり資産残高0のお客様の口座を順次閉鎖していることに起因します。預かり資産は3,620億円(前期比8.7%増)となりました。

売買 状況

株式等売買代金は前期比34.6%増 ホールセール部門の203.9%増が寄与

リテール部門の株式等売買代金は48,771百万円(同16.9%減)となりましたが、ホールセール部門が54,211百万円(同203.9%増)と好調だったことにより、全社では102,982百万円(同34.6%増)と大幅に増やしました。

デリバティブ取引についても、コモディティ価格の変動をとらえ、全社では132,826百枚(同21.9%増)と取引売買高を増やしました。

その他

第4四半期の取り組みについて

第3四半期との比較において、期中に日経平均株価が約12%下落したこともあり、全社では2.2%の預かり資産減少となりましたが、リテール部門においては新資金導入による買い付け営業に注力し、預かり資産はほぼ横ばい(同0.1%減)に抑えることが出来ました。また投資信託の有残口座数は101口座増やし、4,050口座(同2.6%増)となりました。また純金・プラチナ積立は金価格の高騰を受け、着実に残高を増やして、156億円(同10.7%増)となりました。

事業指標概要 前期比（1）

	2024年3月期 4Q(3月末)	2025年3月期 4Q(3月末)	前期比(%)	増減
口座数	54,341	52,841	-2.8%	-1,500
預かり資産 (百万円)	332,956	362,064	+8.7%	+29,108
リテール事業	255,846	265,949	+3.9%	+10,103
うち投資信託残高	28,101	27,351	-2.7%	-750
うち外国株預かり残高	18,686	18,467	-1.1%	-219
ホールセール事業	77,110	96,115	+24.6%	+19,005
純金・プラチナ積立預かり残高 (百万円)	11,986	15,616	+30.3%	+3,630

※1 上記の各指標はすべて日産証券のものとなります。

※2 口座数・預かり資産ともに証券取引口座・商品デリバティブ取引口座・取引所為替証拠金取引口座、取引所株価指数証拠金取引口座の合計となります。

※3 純金・プラチナ積立預かり残高は各四半期末の純金・プラチナ積立販売価格にて換算した金額（税込）となります。

事業指標概要 前期比（2）

	2024年3月期 4Q(3月末)	2025年3月期 4Q(3月末)	前期比(%)	増減
株式等売買代金 (百万円)	76,526	102,982	+34.6%	+26,456
リテール事業	58,687	48,771	-16.9%	-9,916
うち国内株式等売買代金	48,782	42,334	-13.2%	-6,448
うち外国株売買代金	9,905	6,437	-35.0%	-3,468
ホールセール事業	17,839	54,211	+203.9%	+36,372
デリバティブ取引売買高 (百枚)	108,919	132,826	+21.9%	+23,907
リテール事業	5,743	5,273	-8.2%	-470
ホールセール事業	103,176	127,553	+23.6%	+24,377

※1 上記の各指標はすべて日産証券のものとなります。

※2 デリバティブ取引売買高は証券デリバティブ取引、商品デリバティブ取引、取引所為替証拠金取引、取引所株価指数証拠金取引の合計枚数となります。

事業指標概要 前四半期比（1）

	2025年3月期 3Q(12月末)	2025年3月期 4Q(3月末)	前四半期比(%)	増減
口座数	53,181	52,841	-0.6%	-340
預かり資産 (百万円)	370,339	362,064	-2.2%	-8,275
リテール事業	266,199	265,949	-0.1%	-250
うち投資信託残高	28,741	27,351	-4.8%	-1,390
うち外国株預かり残高	23,434	18,467	-21.2%	-4,967
ホールセール事業	104,140	96,115	-7.7%	-8,025
純金・プラチナ積立預かり残高 (百万円)	14,102	15,616	+10.7%	+1,514

※1 上記の各指標はすべて日産証券のものとなります。

※2 口座数・預かり資産ともに証券取引口座・商品デリバティブ取引口座・取引所為替証拠金取引口座、取引所株価指数証拠金取引口座の合計となります。

※3 純金・プラチナ積立預かり残高は各四半期末の純金・プラチナ積立販売価格にて換算した金額（税込）となります。

事業指標概要 前四半期比（2）

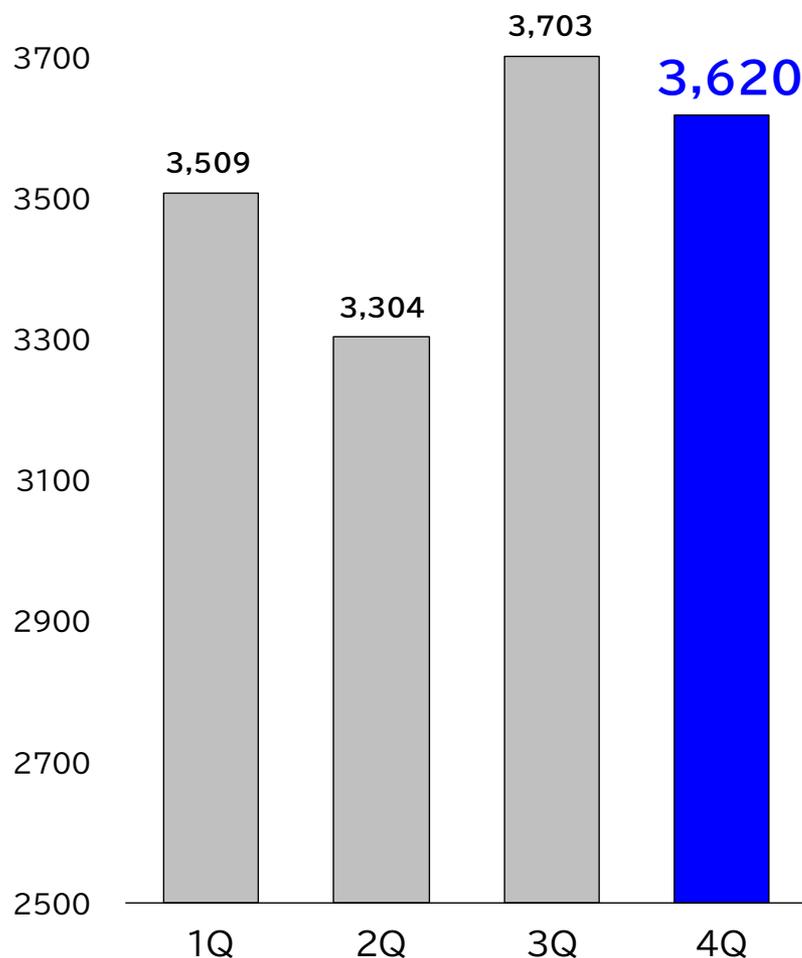
	2025年3月期 3Q(10~12月)	2025年3月期 4Q(1~3月)	前四半期比(%)	増減
株式等売買代金 (百万円)	97,186	102,982	+6.0%	+5,796
リテール事業	56,397	48,771	-13.5%	-7,626
うち国内株式等売買代金	46,150	42,334	-8.3%	-3,816
うち外国株売買代金	10,247	6,437	-37.2%	-3,810
ホールセール事業	40,789	54,211	+32.9%	+13,422
デリバティブ取引売買高 (百枚)	99,964	132,826	+32.9%	+32,862
リテール事業	4,319	5,273	+22.1%	+954
ホールセール事業	95,643	127,553	+33.4%	+31,910

※1 上記の各指標はすべて日産証券のものとなります。

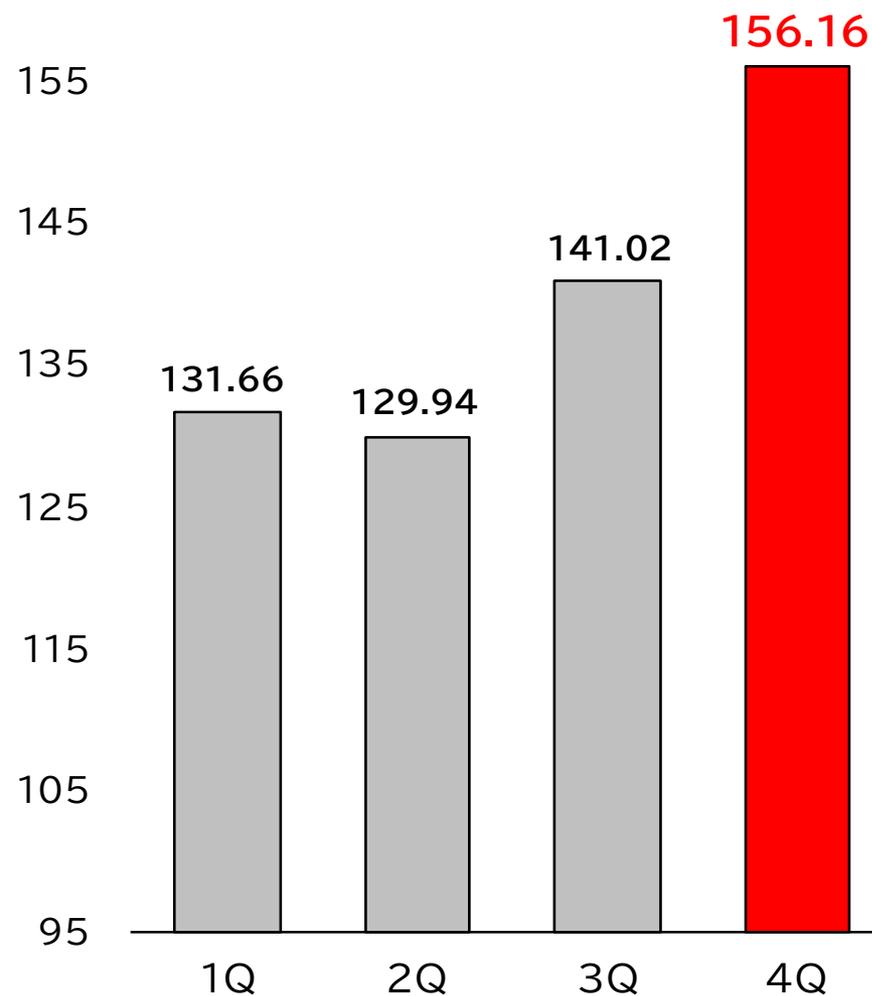
※2 デリバティブ取引売買高は証券デリバティブ取引、商品デリバティブ取引、取引所為替証拠金取引、取引所株価指数証拠金取引の合計枚数となります。

預かり資産・純金プラチナ積立預かり残高

預かり資産(億円)



純金・プラチナ積立預かり残高(億円)

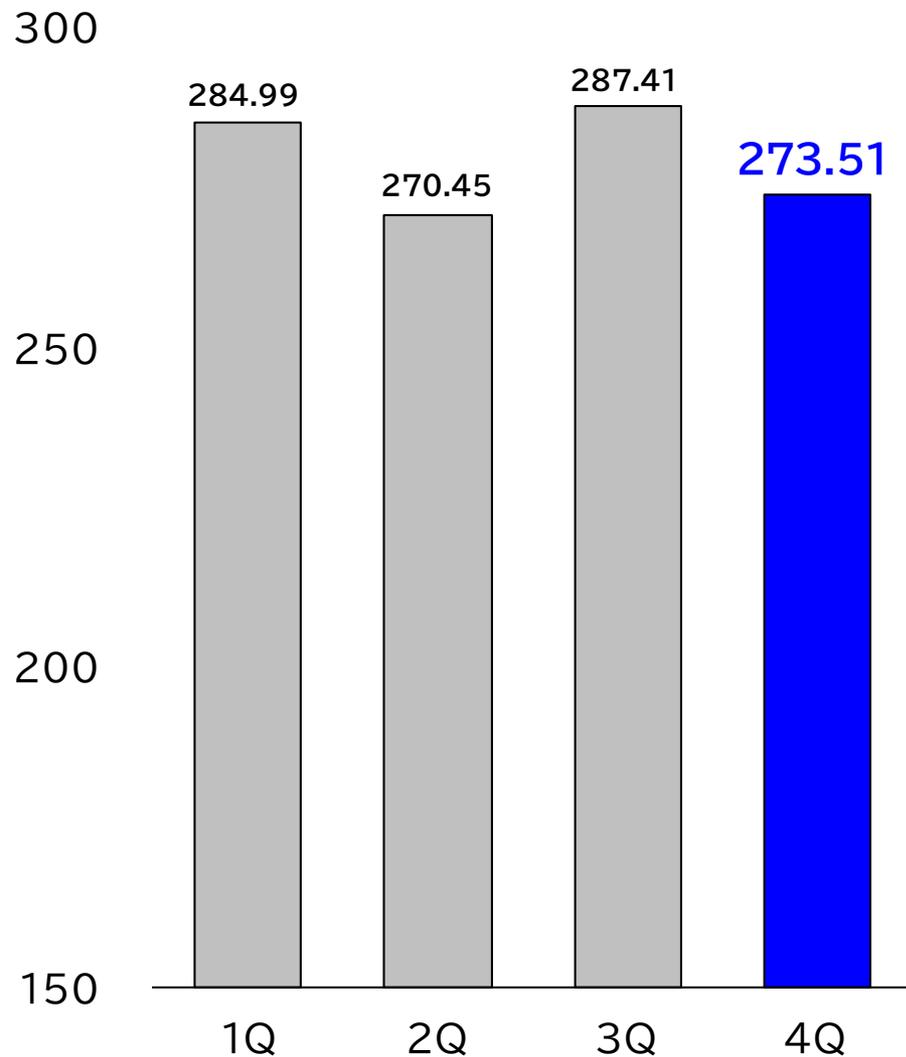
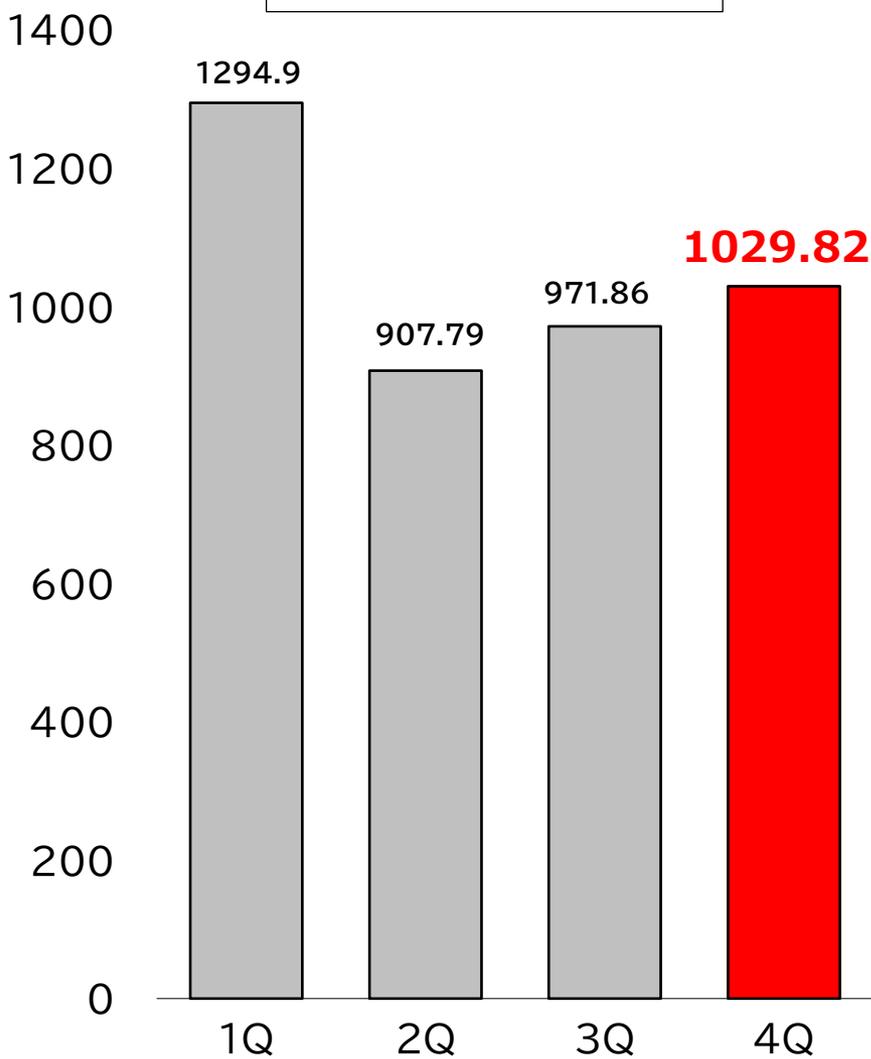


※ 純金・プラチナ積立預かり残高は各四半期末の純金・プラチナ積立販売価格にて換算した金額（税込）となります。

株式売買代金・投資信託残高

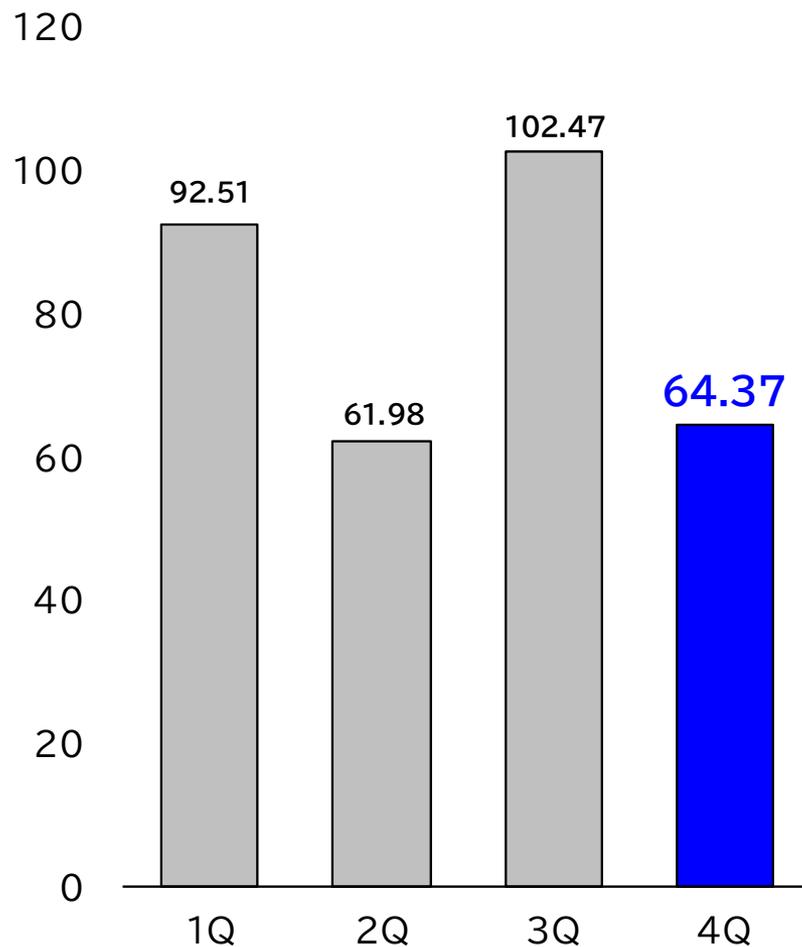
株式売買代金(億円)

投資信託残高(億円)

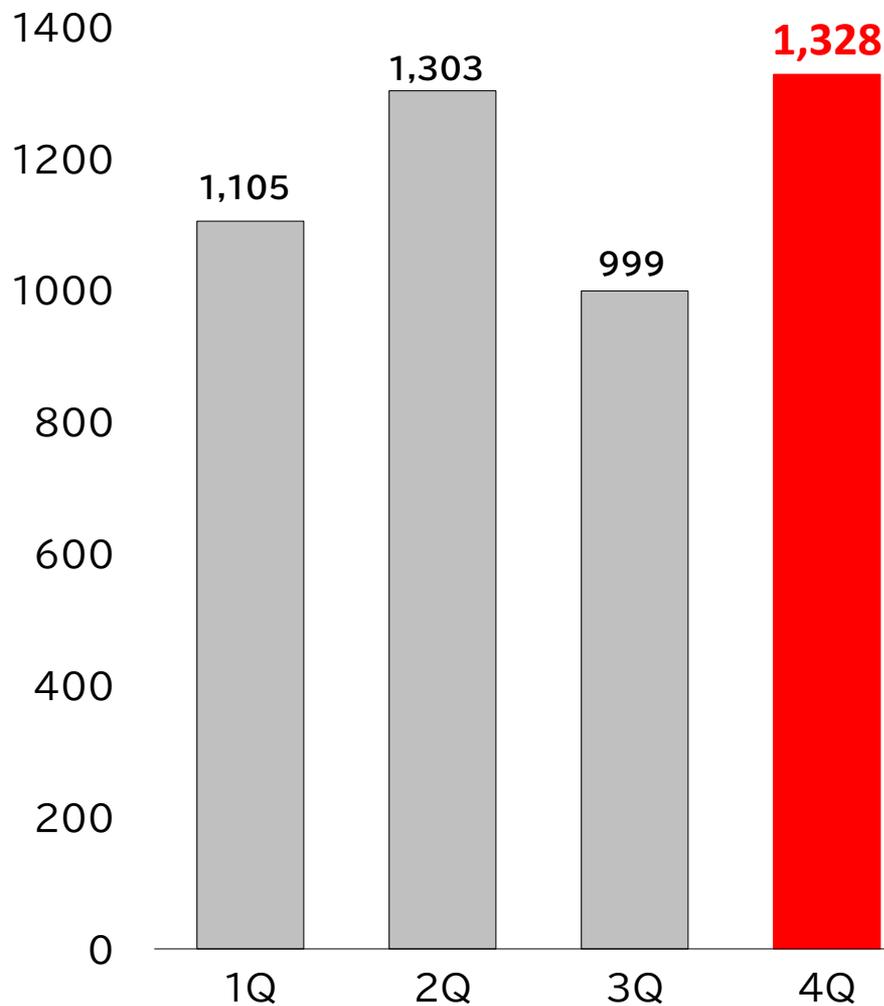


外国株売買代金・デリバティブ取引売買高

外国株売買代金(億円)



デリバティブ取引売買高(万枚)



※ デリバティブ取引売買高は証券デリバティブ取引、商品デリバティブ取引、取引所為替証拠金取引、取引所株価指数証拠金取引の合計枚数となります。

Ⅲ トピックス

~Topics~

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（1）

当社は2024年6月24日付で「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について東京証券取引所の要請に基づく開示を行いました。

今後は開示内容の点検・ブラッシュアップを実施し、さらに株主・投資家の皆様の視点を踏まえた対応に努めてまいります。

日本取引所グループHPより

業種	市場区分	銘柄コード	銘柄名	要請に基づく開示状況
証券・商品先物取引業	スタンダード	8705	日産証券グループ	開示済

	開示済み	検討中	合計
プライム	87%	5%	91%
スタンダード	38%	12%	50%

（2025年4月現在）

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（2）

現状分析・評価から、当社の「資本コストや株価を意識した経営の実現」に向けた対応方針及び取組みを以下の通り定めております。

対応
方針

- ◇ PBR 1 倍以上の維持、継続
- ◇ 株主資本コストを上回るROEの達成

当社の
取組

中長期的な企業価値向上のための成長戦略

- 事業基盤の拡充及び収益力強化
- 人的資本経営の推進

経営資源の適切な配分

- 配当実績と配当性向
- 株主優待制度の拡充

資本コストの低減

- コーポレートガバナンスの強化及び維持
- 情報開示の充実化及び多様化
- 株主、投資家との接点拡充

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応 (3)

2024年3月にPBR1倍を達成しましたが、その後の株価調整により、現在は1倍を下回っています。また当社グループの資本コストは4%から7%の間と認識しており、ROEが継続的に資本コストを安定的に上回る経営を目指します。

日産証券グループ (8705/T) 日足 2022/01/04~2025/05/02 [815本]ロウソク足



©2012 QUICK Corp. All Rights Reserved.

- 1.当資料は、株式会社QUICK(以下QUICK)の情報画面をそのまま印刷したものです。
- 2.当資料は、あくまで参考情報であり、特定銘柄の投資勧誘や推奨を目的としたものではありません。
- 3.当資料に含まれる情報の一切の知的財産権は、QUICKおよびその情報源に帰属します。
- 4.当資料の情報は信頼できると考えられる情報源から得ておりますが、正確性および信頼性等を保証するものではありません。
- 5.当資料のご利用にあたっては、上記の内容をご了解下さい。万が一、ご利用者に不利益が生じた場合でもQUICKおよび情報源は一切の責任を負いません。
- 6.当資料の複製は禁止します。

自己株式取得と消却について

2024年8月13日開催の取締役会にて自己株式の取得及び消却を決議し、以下の通り実施いたしました。

資本効率の向上及び柔軟な資本政策の遂行により、流通株式比率の向上と株主の皆様への利益還元を図るために行った施策です。

1.自己株式の取得について

取得した株式の種類	当社普通株式
取得資金した株式の総数	5,934,000株 (消却前の発行済株数(自己株式を除く)に対する割合9.84%)
取得価格の総額	1,085,922,000円
取得日	2024年8月14日
取得方法	東京証券取引所における自己株式立会外取引 (ToSTNeT-3による買付)

2.自己株式の消却について

消却した株式の種類	当社普通株式
消却した株式の総数	5,938,769株 (消却前の発行済株数に対する割合9.84%)
消却日	2024年8月30日

貴金属市場プロモーション支援キャンペーン表彰

2025年2月、子会社の日産証券が「貴金属市場プロモーション支援キャンペーン」の表彰を受けました。同キャンペーンは大阪取引所の「金先物取引・白金先物取引」について、個人投資家の参入促進、投資機運向上を目的とし、市場活性化策の一環として同取引所が実施した施策であり、日産証券は取引参加者として市場活性化に貢献することを目的にキャンペーンに参加いたしました。



単位:枚

当社実績	9月	10~12月	増加枚数	増加率
金グループ	15,762	32,660	16,898	107.2%
白金グループ	4,290	8,561	4,271	99.6%

キャンペーンの対象期間(2024年10月~2024年12月)において、日産証券の「金先物取引・白金先物取引」における個人取引を対象とした取引高の増加数量及び増加率が、取引参加者内でも**第1位**となり、表彰を受けることとなりました。

個人投資家向けIRセミナーの開催

2024年3月に開始した「個人投資家向けIRセミナー」は、日本証券アナリスト協会様が主催する会社説明会を含め、今までに計5回実施しております。

株主や投資家の皆さまに弊社代表取締役社長が直接、会社のビジョン、経営方針、業績等に加え、株主還元方針や主力子会社である日産証券のビジネスモデルなどをお伝えするための活動として、今後も個人投資家向けIRセミナーを開催してまいります。

米大統領選直後の土曜日開催!!

日産証券グループIR・経済セミナー
at 銀座フェニックスプラザ

「米大統領選挙後の世界経済のゆくえ」

2024年 11月9日(土) 13:30~17:00
(受付12:45~)

三菱UFJアセットマネジメントチーフエコノミスト
荒武 秀至 氏ご講演!!



参加無料 定員**100名**

※応募多数の場合は抽選。
10月末までに「入場ハガキ」送付
(抽選にもれた方には後日講演要旨レポートを郵送)

来場者には参加記念品を進呈

※「入場ハガキ」持参の方のみ入場いただけます。

2024年12月12日(木)

日産証券グループ 個人投資家様向け 会社説明会

日本証券アナリスト協会イベントサイトにて登録要 WEB視聴も可能



個人投資家向け会社説明会

~2024.12.12(木)~

※：日産証券カンファレンスルーム

◎ 日産証券グループ株式会社
証券コード：8705 (東証スタンダード)

Nissan Securities Group

1



IV 株主還元

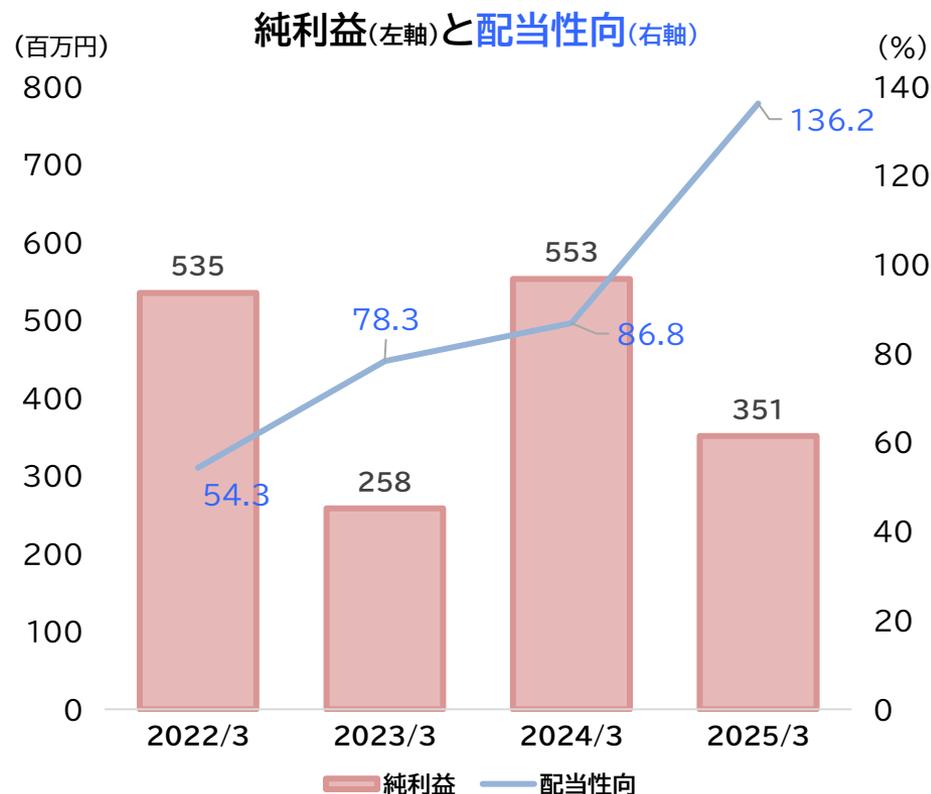
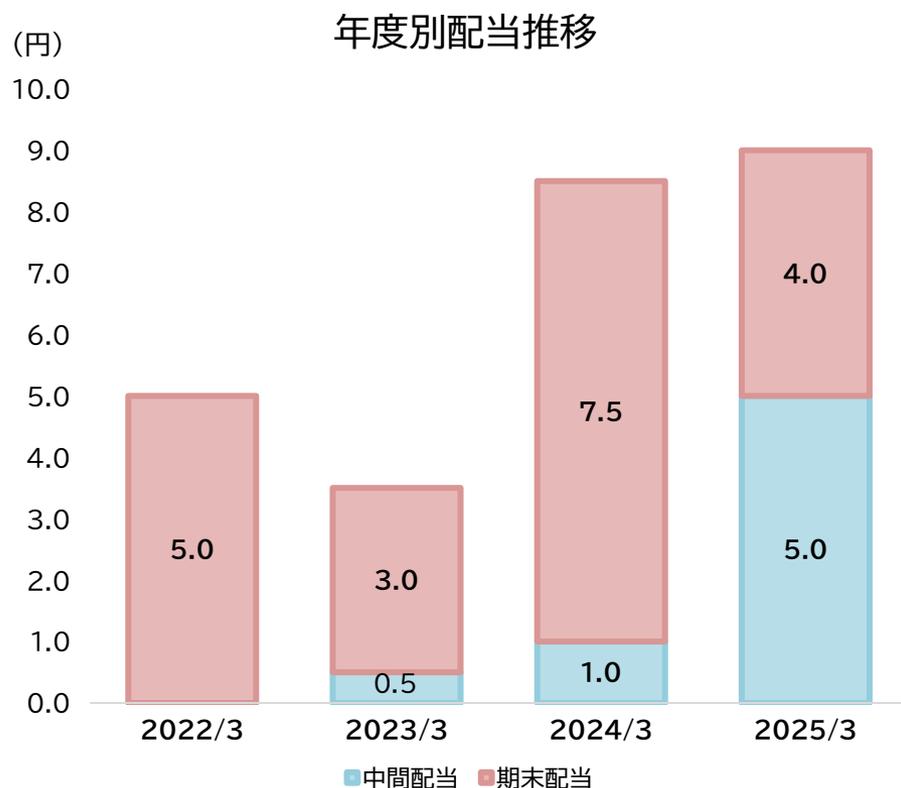
~Return to Shareholder~

当社の配当方針について

配当実績 と 配当性向

株主価値の最大化、資本効率の向上を意識しバランスの取れた配当の実施を基本方針とします。

自己株式取得を含めた連結ベースでの配当性向(総還元性向)を60%以上に定め、年1回もしくは中間配当を含めた年2回の配当を実施いたします。



株主還元と当社株主数の推移

期末配当 と 株主数の 推移

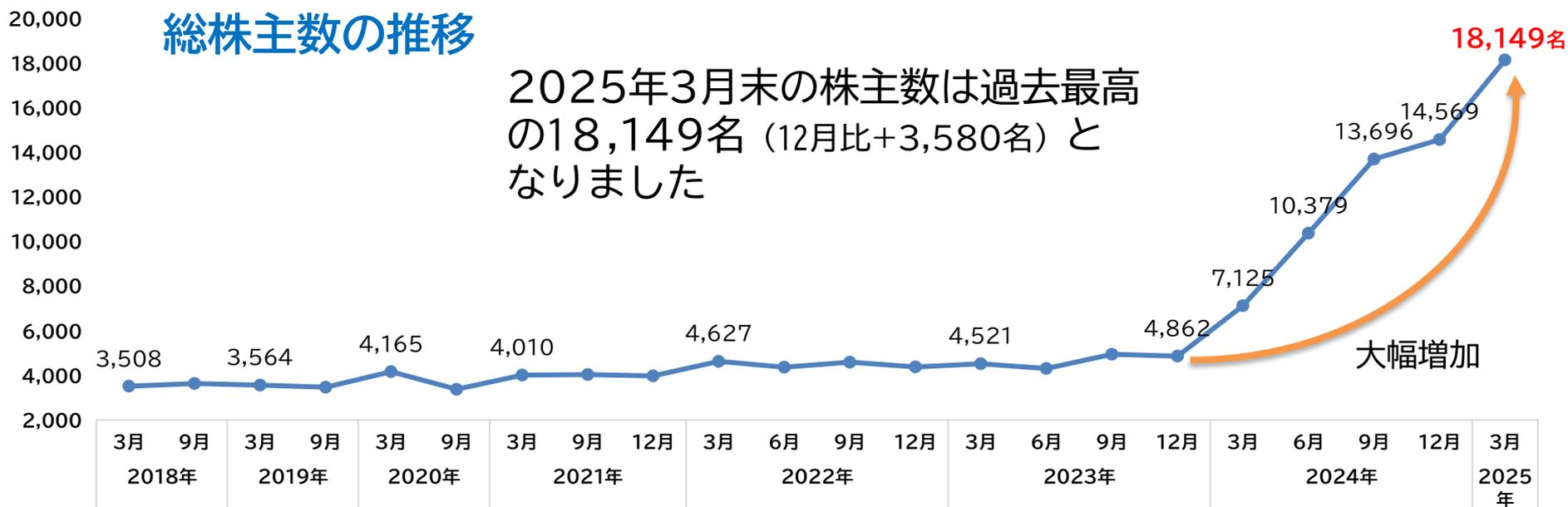
期末配当は、1株当たり4.0円と決定いたしました。
これにより2024年9月に実施した中間配当5.0円と合わせ、年間9.0円配当となります。年間9.0円の配当は前年度に比べて0.5円の増配となります。

配当について

2025年3月
期末配当 **4.0円** + 2024年9月中間 **5.0円** = **9.0円** 年間配当合計
年間配当
0.5円増配

総株主数の推移

2025年3月末の株主数は過去最高の18,149名（12月比+3,580名）となりました



株主優待制度について

当社の 株主優待制度

当社では、株主様への還元率を向上させることで、当社株式への投資魅力を高めるとともに、中長期的に保有いただける株主様の一層の拡大を図ることを目的として、以下の通り株主優待制度を設けております。



基準日	保有株式数	保有期間	優待内容
毎年 3月末	200株以上 500株未満	—	300円分のクオカードを贈呈
	500株以上 1,000株未満	1年未満	1,000円分のクオカードを贈呈
		1年以上	2,000円分のクオカードを贈呈
	1,000株以上	2年未満	2,000円分のクオカードを贈呈
		2年以上	5,000円分のクオカードを贈呈

基準日	保有株式数	条件	優待内容
毎年9月末・3月末	100株以上	9月末・3月末の株主様であり、かつ新規でタートルプラン申し込みの方が対象	純金・プラチナ積立「タートルプラン」新規申込で3,000円分のクオカードを贈呈

タートルプランの詳細は右の二次元コードをご利用いただくか、0120-66-8639 日産証券タートルプラン担当にお問い合わせください。

タートルプラン



新規申込・資料請求フォーム



商 号 (英 文 社 名)	日産証券グループ株式会社 (Nissan Securities Group Co., Ltd.)
本 社	東京都中央区銀座六丁目10番1号
設 立	2005年4月1日
資 本 金	1,701,505千円(2025年3月末現在)
代 表 者	代表取締役社長 二家 英彰
事 業 内 容	傘下グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務
主 要 事 業 会 社	日産証券株式会社(金融商品取引業者・商品先物取引業者)
上 場 市 場	東証スタンダード市場(証券コード:8705)

◎ 日産証券グループ株式会社

(お問合せ) 日産証券グループ株式会社 企画管理部

電話 : 03-6759-8705

URL : <https://www.nissansec-g.co.jp/>

Mail : ir-g@nissan-sec.co.jp

- 本資料は、2025年3月期決算の業績並びに当社及びグループ会社の経営方針、事業内容、財務情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料は、2025年4月末現在のデータに基づいて作成されております。
- 本資料に掲載している事項は資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。また、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等があった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わずに一切責任を負うものではありません。
- 本資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。